



豊岡中学校

# 同窓会々報

第40号

## 平和を考える

会長 杉浦 美充(30回生)

第73回生の皆さん、卒業おめでとう。今年も新たに171名の同窓生が入会されますこと、心より歓迎いたします。また、関係者の方々におかれましては日頃より多大なるご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年11月、息子が通っていた高校の周年行事があり、参加させていただきました。受付から会場案内、司会進行などほとんどの担当を生徒中心で行っており、とても微笑ましく、また学校側と生徒側の関係の良さを感じることが出来ました。周年行事の最後のプログラムで、戦場カメラマンでお馴染みの渡部陽一さんの講演がありました。あいさつ時は皆さんご存じの口調で場を和ませ、いざ講演が始まると普通の口調になり、2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵攻の現場に9月に行ってきたお話を約80分間お話ししてくれました。子供を中心に撮ってきた写真をスクリーン上に映しながら、時折残酷な写真もあるため、それを映すときは前もって「見たくない人は目を伏せてください」という配慮も。テレビでは絶対に放映されないであろう映像には、戦争の恐ろしさを思い知らされ、改めて日本の平和を実感しましたが、昨年より頻繁に行われている隣国によるミサイル発射など、平和ボケになってはいけな、と痛感しております。

今回は野球の話題はないな、と思っていたら、昨年末にビッグニュースが入ってきました。蒲郡高出身で、ソフトバンクの育成から日本のトップ投手となり、今年からメジャーリーグ「メッツ」の投手となった千賀投手の話題です。私には想像もつかない高額な契約金で入団しました。とにかくケガだけには気を付けて、長いシーズンの活躍を期待したいと思います。また、WBCもあるので、こちらも楽しみにしたいと思います。

そして山内校長先生、今年度で定年退職をされるとの事、おめでとうございます。永年に渡る教員生活、私の息子も豊岡中学でお世話になり、父子でお世話になりました。ありがとうございました。

末尾になりますが、永年にわたり豊岡中学同窓会会長として、また豊橋市議会議員・議長まで勤められ、豊岡中学のため、豊橋市のために尽力されました前同窓会会長の岩瀬篤氏が昨年4月ご逝去されました。この場をお借りして、謹んで哀悼の意を表します。

合掌

## 志をもって生きよ

豊岡中学校長 山内 潤次

梅の蕾がほころび始めると、緩やかに春の訪れを感じます。この季節を迎えるたびに、世代がまたひとつ新たに塗り替えられるわけですが、今年は私自身のこともあってまた違う感情が動きます。

3年間、新型コロナウイルス感染症と闘う日々を過ごしてきた3年生171名が、いよいよ旅立ちの日を迎え、豊岡中学校同窓会に入会させていただくこととなります。どうぞよろしく願いいたします。

では、この場をお借りして3年生諸君へメッセージを。

令和2年度4月、それは失意からの始まりだった。教育史上例を見ない2か月の休校。マスク越しの出会い。生活…。

夏の大会がなくなり、自然体験学習がなくなり、体育祭や生き生きフェスティバルが縮小され、当たり前でできていたことができなくなった。給食は話ができなくなり、全校で集まることもできない。期待していたはずの楽しい中学校生活はどこへ？

そんな一変した日常の中、諸君は本当に本当によくがんばった。きっと苦しかったからこそ、やりきれなさを感じたからこそ、負けない強さをそして自ら創り出すアイデアを生み出したのだ。

その気概を忘れるな。これからの未知なる道を進め。

その熱く燃える心を忘れるな。自らの志をもって生きよ。

この中学校生活3年間を生き抜いた諸君を、私は忘れることはないだろう。

同窓生の皆様には、昨年に続き、豊岡中学校の姿や3年生の活躍をご覧いただけませんでしたが見事な成長を遂げました。これからも旅立つ子どもたちを支え、励まし、見守っていただけましたら幸いです。

そして私自身、この3月で教員生活に幕を閉じることとなりました。担任時代より13年間という長きにわたって、皆様には温かく手を差し伸べていただき大変お世話になりました。厚く厚くお礼申し上げます。

大変ありがとうございました。これからも豊岡中学校をよろしく願いいたします。



## 同窓生の声

### 中学校生活を振り返り

第47回生 山口 智

第73回生の皆様、ご卒業おめでとうございます。まだまだ新型コロナの影響下においては皆様の中学校生活は大変だったかと思われまます。しかし、その制約の多い中で生活が寧ろ皆様にとってプラスの経験になることを願います。

私が豊岡中学校に入学した当時は、1学年に6クラス、250名ほどの生徒がいたと思います。私は3年間級長をさせていただき、合唱コンクールなどの行事には積極的に取り組んでいました。その甲斐あって、3年生のときには指揮者として挑んだ合唱コンクールで指揮者賞に選ばれ、嬉しかった記憶があります。

部活動は卓球部に所属し、副キャプテンを務めました。私は勉強よりも部活動に打ち込むタイプで、熱心に練習に取り組んでいました。ずっと勝てなかった相手に勝つ

ことが出来たときに、自分が上手くなった実感が湧いてきたのを今でも覚えています。

その部活動において印象深かった出来事で、私はある部員にもっと一生懸命やれば上手くなるのにどうしてちゃんとやらないのかと問いかけたことがあります。その部員の回答は、部活動で体力を使い切ると帰ってから勉強がおろそかになるからと、一生懸命やることを押し付けないでほしいというものでした。当時、私にとって部活動は全力で取り組むものという認識でしたので、その部員の考え方は衝撃的でした。当たり前の事なのですが、価値観や考え方は人それぞれであるということを改めて認識させられた出来事でした。

73回生の皆様にとっての中学校生活3年間は、長かったと感じた人も短かったと感じた人もいたかと思えます。ただ、その中で培った経験は一生役に立つことでしょう。中学校生活において、考えた事、思った事を大事にしていただけたらと思います。

最後に、豊岡中学校同窓生、その関係の皆様様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。



第47回生 「合唱コンクール」「卓球部」（卒業アルバムより）

# 豊岡中学校同窓会



## 同窓会役員

会 長	30回生	杉浦 美充
副会長	25回生	山内 壱仁
副会長	25回生	前川 明俊
副会長	33回生	中村 泰久
副会長	47回生	岩瀬 彰吾



## 第73回常任・学級委員

常任委員

4名

学級委員

10名

## 新入会員の声

### 「壁」

第73回生 松田 廉人

私たちに立ちはだかるたくさんの壁。この3年間、私たちの前にはいつも壁が立っていました。

3年前、長い休みが明け、私たちの晴れ舞台になった入学式。これから始まる日々に興奮と緊張を感じました。しかし、コロナによる休校が私たちを襲いました。

学校が再開して数か月後、延期になりながらも競技内容を変更し、何とかできた体育祭。この行事が、3学年そろって初めて交流する場となりました。そこで見た長縄で、先輩たちが大声を出し互いに信頼し合う姿に、かっこよさを感じました。また、体育祭以降も合唱コンクールや部活動で、一生懸命に最後まで取り組む姿が私たちの中学校生活の指標となりました。

3年生で行った選手壮行会。今までの伝統を引き継ぐだけでなく、新たな演舞に取り組んだり、メッセージを魚の形に貼って思いを届けたりしました。今までの伝統を変える挑戦はとても大変でしたが、

「自分たちで学校を変えている」という今まで味わうことのできない達成感がありました。

私たちが経験したたくさんの壁。どの壁も挑戦することはとても大変でした。しかし、この3年間で、結果よりも過程が大事だということがよくわかりました。それは、できないからやらないのではなく、できることを探して挑戦することで、新しい道を作ることができたからです。

私たち第73回生171名は、豊岡中学校を無事に卒業することができます。この先、様々な壁が私たちに立ちはだかると思いますが、今までの経験を生かし、自分たちでよりよい方法を考え、行動していきたいと思っています。

これから私たちは同窓会の一員となります。どうぞよろしく願います。



発行 豊岡中学校同窓会

〒440-0832 豊橋市中岩田一丁目5の2

TEL 0532-61-3278

FAX 0532-65-1201